



山口茜選手に 福井県栄誉賞を贈呈

世界バドミントン選手権大会女子シングルスで、日本勢初となる3度目の優勝を果たした山口茜選手に、11月18日、福井県栄誉賞を贈呈しました。贈呈は、勝山市で開かれた報告会とトークショーに合わせて行われ、山口選手は「これからもみなさんに良い結果を報告できるよう精一杯頑張りたい」と述べました。

福井県栄誉賞はスポーツや文化の分野で顕著な功績を挙げた個人や団体を表彰するもので、これまでに延べ9名と2団体が受賞しています。



北陸三県の女性リーダー研修生 交流会を初開催

県では、企業で働く女性リーダー育成研修「ハッピーキャリア“縁”カレッジ」を実施しており、今年度は過去最多の77社129名が参加しています。

12月19日には、北陸三県の女性リーダー研修生による交流会を福井市内で初めて開催し、三県から27名が参加。事例発表やグルーブトーク、ランチトークを通じて積極的に意見交換し、交流を深めました。参加者からは「同じ課題に取り組む仲間がいると知り励まされた」といった声が寄せられました。

県政トピックス

パリで観光イベント 「ZEN, Alive. Fukui」開催

県では、禅への関心が高いフランスでのインバウンド誘客を目的に、令和4年度から禅をテーマとしたイベントを開催しています。11月27日には、パリで観光イベント「ZEN, Alive. Fukui」を実施し、旅行会社やメディア関係者など約20名が参加。福井県の観光プレゼンテーションやPR動画の上映のほか、焼き鯖寿司や越前そばなどの食と日本酒の提供、伝統工芸品の展示を通じて福井の特色を紹介し、県の魅力を海外に発信する有意義な機会となりました。



受け継がれる匠の技 「福井お宝博」開催

11月22、23日、サンドーム福井で「福井お宝博ー見よっさ、知ろっさ、福井の技ー」を初めて開催しました。ユネスコ無形文化遺産に登録された越前鳥の子紙の紙漉きや敦賀のおぼろ昆布削りの実演のほか、文化財を測量する最新技術も披露。また、文化庁主催の「日本の技フェア」も同時開催され、^{ひわだ}檜皮葺や漆塗り、木造彫刻など、全国の有形・無形文化財の技が紹介され、来場者は職人の高度な技術に見入っていました。

